

おうちみネット

Ohmi Net

トピックス

NPO国際フォーラム・イン・しが
英国のチャリティ制度に学ぶ

スポットライト

アトピー情報交換広場 あとぴっとー大津市
ぎやらりい柚の道ー大津市
草津市災害ボランティアネットワークー草津市
一粒の会ー近江八幡市

ネットワーク

伝言板 1月・2月情報
リレーエッセイ
Voice



NO. 9
1999・1

淡海ネットワークセンター

The Ohmi Network Center for Voluntary Organizations

英国のチャリティ制度に学ぶ

平成10年12月1日は、わが国の市民活動にとって歴史的な日となりました。NPO（民間非営利団体）に法人格を付与する「特定非営利活動促進法（通称：NPO法）」が施行されたからです。この記念する日に、滋賀県と淡海ネットワークセンターでは

「NPO国際フォーラム・イン・しが」を琵琶湖研究所で開催しました。ゲストは「英国チャリティ委員会代表コミッショナーのリチャード・フライズさんと、

チャリティ団体である「障害者の自立支援活動の国際組織（ADD）」の代表理事 パーバラ・フロストさん。

NPO活動の先進国であるイギリスの事例を学ぼうと、約90人の県民・行政関係者が熱心に聴講しました。その内容を要約再現してお知らせします。

チャリティと
チャリティ委員会
リチャード・
フライズさん

英国独自の制度である「チャリティ」について

ん出する必要もありませんから。

チャリティ委員会について

チャリティをサポートするための国の機関ですが、独立した権限を持っています。スタッフは570人ほど。年間約40億円の資金で活動しています。委員会は「公益」の判断をし、チャリティの「登録」「支援」「モニタ（監視）」にあつています。

チャリティについて 重要なことは

——まずまず重要になる説明責任——

チャリティの活動は、その時代に人々が求めるものが対象となります。社会の変化で「公益」

リチャード・フライズさん
（英国チャリティ委員会代表コミッショナー）

1940年生まれ。1965年内務省入省。1982年刑事裁判法制定の法案委員長として活躍。特に、青少年犯罪法の見直しや入国管理法、民族問題を専門とする。1987年より91年まで内務省事務次官（ボランティア・チャリティ政策担当）。1992年6月より現職。1993年のチャリティ法令制定を監督。



英国には約50万のボランティア団体があり、そのうち約18万団体が「チャリティ」団体としてチャリティ委員会に登録されています。チャリティ法で「何が公益（チャリティ）か」という判断基準が決められており、それにもとづいた法的資格を持つのがチャリティです。

チャリティには4つの原則があります。

- 1 公益を旨とする
- 2 独立的な運営をする
- 3 非営利の事業を行う
- 4 政治団体ではない

という事です。NPOとよく似ていますが、イギリスではNPOと言えは誤解を招きます。なぜなら、チャリティは「利益」を生み出し、もよい団体だからです。ただし、生み出した利益は分配するのではなく、チャリティの運用に使われます。大きなチャリティは給料を出して多くの人を雇っており、その費用をね

は変化するため、チャリティも柔軟で多様なものとならざるを得ません。毎年四千ほどの新しいチャリティが登録されていますが、消えていくものもあります。チャリティは社会の変化とともに変わっていくんです。チャリティになるメリットは、まず社会的信用があります。公益活動をしていると認められ、お金や時間についての支援が得やすくなります。税制面の優遇措置もあります。こうしたことから、活動内容、活動結果、資金の使い方などをきちんと説明する責任が発生します。いわゆるアカウンタビリティ（説明責任）です。そのチャリティが本当に公益に寄与する活動をしている証として、それぞれの規模に適した形で毎年活動報告や財務諸表を提出

チャリティを成功させる5つのポイント

バーバラ・フロストさん

ADDについて

ADDでは、アジア・アフリカの13カ国で貧しくて障害のある人達の援助をしています。どちら

らかという人権的なアプローチです。健常者と同じ人権を社会の中で実現するため、自立意識を持っていただき、立ち上がっていただくお手伝いです。さらに、その国の市民社会の形成のサポートも。そうした国では市民社会の確立自体が大変な仕事なんです。

15年前、10万ポンドの資金で2カ国で活動を

バーバラ・フロストさん
(ADD: 障害者の自立支援組織 代表理事)

オーストラリア・ニューサウスウェールズ州で在宅ケアサービス開発部長(1986~89)。セイブ・ザ・チルドレン英国の南部アフリカ地域事務所次長(1991~92)、アクション・エイド・マラウイ事務所長等を歴任。1996年より現職。

することになっています。アカウンタビリティは一般社会からのチャリティに対する信頼を維持するうえでも大切です。これがないと寄付金や補助が集まりにくいからです。

開始しましたが、今では13カ国、150万ポンド(約3億円)ほどです。資金調達先は政府、自治体、他の国の政府、自治体、そしてトラス(信託)などです。

チャリティ活動を成功させるコツは

5つあると思います。

- 1 社会のどこにギャップ、不足があるのか、需要があるのかを見つめ続けること。このギャップを埋めていくのが私たちの仕事です。
- 2 活動は援助先の自助努力を醸成していくものであること。援助は長期間持続できるものではありません。
- 3 常に「なぜ、こうやっているのだろう」「本当にしなきゃいけないんだろうか」と自問し続けること。環境は常に変わり、人々が求めるものも変わっていくからです。私たちのような「援助する」チャリティの場合、最終的には私たちの存在価値がなくなったほうがいい。それくらい気持ちで取り組むべきです。
- 4 資金をどうして調達するか。それには短期的、長期的な便益を明確にすること。でないとなかなかうまく集まりません。
- 5 良好なマネジメントシステムを確立すること。適切なリーダーシップも大変重要ですね。

開催プログラム

- 基調報告
 - ① 「英国におけるチャリティの活動と支援システム」
リチャード・フライズさん
 - ② 「チャリティへの支援の実際と信頼の形成」
バーバラ・フロストさん
- 質問と意見交換
コーディネーター 北村裕明さん



日本の皆さんへのメッセージ

リチャードさん

イギリスでは、チャリティは40年の法の枠組みがあり、こういった新品の法律で新しい試みというのは羨ましく思います。次に日本に来るときには、この法律によってNPOやその使命感が花開いていることになるかと思えます。課題もたくさんありますが、皆が経験していることです。大丈夫だと思います。

バーバラさん

確かに日本とイギリスは組織は違いますが、イギリスと同じように使命感をもち活動する団体がたくさんあります。新しい法律をきっかけにより皆さんの活動に拍車をかけてもらいたいと思っています。それを可能にするのは皆さん自身なのです。イギリスより日本の方がより地域に根付いている点で進んでいると思いますし、ネットワークキングのし方も違います。これからも相互に交流し、教え合っていきたいですね。

今回のフォーラムを振り返って

コーディネーターから
北村 裕明さん



今回のフォーラムでは、イギリスの歴史あるチャリティが、その伝統に縛られずに社会状況に対応してダイナミックに変化していることに感動しました。必要とされる大きな改革を、政府とチャリティが連携しつつ行い、同時に連携の仕方も再構築しているというところは、これからの日本を考える上でも参考になるんじゃないでしょうか。また、チャリティやボランティア団体、NPOが力を得れば得るほど、それらのアカウンタビリティが重要になるといことは英国、日本に共通する課題ですね。



食べることは よりよく生きること！

——アトピー情報交換広場
あとぴっと(大津市)

●国民の4人に1人が、何らかのアレルギ―疾患を持つ時代。

環境、食物汚染と深く関わりあっている現代病「アトピー性皮膚炎」は、「まさに未来への警鐘。自分だけの問題でなく、未来の子どもたちにつながる問題として捉えることが大切です！」と力説する事務局長の御舩泰秀さん。

大津市制100周年をきっかけに、今年7月に設立されたのが「あとぴっと」。

「人とのふれあい、自然とのふれ合い」をテーマにアトピーのある、なしにかかわらず自然



「食」は、自然と文化そのもの。あなたも、何気なく食べているものの奥深さと向き合ってみませんか？
(聞き手：編集ボランティア 石田和子)

※ボランティア大募集！
「あとぴっと通信」の編集に
参加しませんか。自宅に
パソコンがあり、編
集経験のある方
大歓迎です。

アトピー情報交換広場 あとぴっと
〒520-0113 大津市坂本4-9-6 事務局長 御舩 泰秀
TEL (077) 578-8730 FAX (077) 579-6327
E-mail: ATOPIT@aol.com

治療力を高めるための勉強や情報交換をするネットワークサークルです。誰もが「アトピー予備軍」。身近な「食」から出発して、本場の「豊かな生活」の見直しにつながればと月1回「アトピーのための食改善実践料理教室」を開催。「作り方が簡単！楽しみながら治っていくのでは」と希望が持てました」と参加者に好評です。活動のモットーは、「楽しくやること」「あとぴっと通信」の発行や、12月には市民フォーラム「アトピーのバリア・フリーをめざして」を成功させ、無農薬野菜や米の共同購入も手掛けたいと夢は広がります。



事務局長の御舩さん ▶

山の文化を発信したい

——ぎやらりい 山の道 (大津市)

●花折トンネルを抜けた鯖街道沿いにあるぎやらりい 山の道。「山の道」というのは、生活の山という意味なんです。山村の文化を街に向かつて発信したい」と語る



〒520-0478 大津市葛川坂下町平バス停前 TEL. 077-599-2524 火曜 日 休 日

のは塚本茂さん。山菜やキノコなどの自然食品や炭などの販売、安全な食材による食堂、ギャラリ―の3部門をもつこのお店は、息子の季里さんが店長、妻の里恵さんがオーナーとなつて96年4月に再興。「今、山を守る事が一番大事やと思ったんです。」炭を焼き、木材を切り出し、きのこを栽培し、腐葉土を田畑の肥やしにした山の暮らしも今では、人も減り、山も荒れています。山の荒廃は、川の汚染や土砂崩れ等の災害の危険性も。「村の者だけでは山はもう守れないんですね。街の者も一緒に動かないと。山の文化のすばらしさ、大切さを訴

え、街の人と村の人が一緒に保存していくための、里山トラストを始めました。そこでは、炭焼き体験や椎茸栽培など山を楽しめる、観光農園、森林を計画。また村が元気になるような山菜やキノコの加工品、炭等地場産物もやってみたいとか。「これから冬ごもりの季節になります。どうぞ雪を見に来て下さい」。季節感溢れる山の豊かな自然。古い町家の店内にある囲炉裏。ここではなくなりつつある日本の文化があります。そんな文化を大切に、子どもたちの声が響きあう社会になっていけばと思います。

ぎやらりい 山の道
〒520-0478 大津市葛川坂下町平バス停前 TEL (077) 599-2524

◀ 塚本茂さん(右から2番目)と息子の季里さん(右から3番目)



境・福祉・ちづくり...内外でキラキラ元気に動されている方々にスポットライトをあて、の活動を紹介します。



も減り、山も荒れています。山の荒廃は、川の汚染や土砂崩れ等の災害の危険性も。「村の者だけでは山はもう守れないんですね。街の者も一緒に動かないと。山の文化のすばらしさ、大切さを訴



(聞き手：編集ボランティア 谷口久美子)



一人ひとりの「特技」と「意志」を結集 大災害時の 民間救援活動に備える 草津市災害ボランティアネットワーク(草津市)

● 広域災害発生時には、行政に頼るだけでなく、自分たちの地域と暮らしを自分たちの手でも守ろう。草津市のボランティア団体有志の呼びかけによってこの9月に発足したのが「草津市災害ボランティアネットワーク」(奥村建一会长・会員約五〇〇名)です。自治省が全国的規模で計画しているボランティアネットワークの先駆けでもあり、もちろん滋賀県では初の



「炊き出し」など希望する活動を選んで研修をしながらいざというときに備えます。会費は年間五〇〇円(団体・法人は三〇〇〇円)。
近隣での大災害も活動対象で、その場合は受け入れ窓口となつて各地からのボランティアとの調整役を目指します。「顔の見える関係づくりによつて、楽しみであり交流の場でもあるネットワークにしたい」と思っています。これを契機に何か社会に役立てる技を身に付けたい...という人も大歓迎です」(同)

「市内にはたくさんボランティアがあり、既にそれぞれが得意な分野で社会に寄与しています。でも、阪神淡路大震災の体験で分かったのは、バラバラで活動しては大災害時の効率



草津市災害ボランティアネットワーク事務局
〒525-0025 草津市西渡川1-1-3草津YMCA内 駒井 孝次
TEL (077) 564-5518 FAX (077) 564-5519 E-mail:uchiyama@kusatsu.or.jp



◀ 旧八幡郵便局

● ウィリアム・メレル・ヴォーリズ。今から98年前に英語教師として近江八幡に着任し、その後、キリスト教に基づく独自の教育とメンソレータム(現メンターム)を中心とした事業活動を展開、そして日本各地に多くの建築を残したアメリカ人。日本人を妻とし、日本に帰化、近江八幡市の名誉市民第1号でもある彼の社会に貢献した生涯は、暖かい人柄と共に没後30余年を経た今も人々の心に深く刻み込まれています。

残したい ヴォーリズの心の文化 一粒の会(近江八幡市)

近江八幡市にはヴォーリズ建築が26あり、旧八幡郵便局もその一つ。通気性、採光の工夫に富む、スパニッシュ風の正門ファサードを持つこの建物は、大正10年に建てられ、昭和35年まで情報発信基地として機能してきました。10年前から空き家となり、荒廃してきたこの建物を修復、保存しようとしてきたのが「一粒の会」です。会員は、現在40人、2トントラックに22杯もあったゴミの撤去と大掃除から活動は始まりました。市外からの参加や地元の商店街の人たちの協力など、今、建物を通して新しいコミュニティが生まれつつあります。「人を第一に考えたヴォーリズ建築は、懐かしさ、優しさを感ぜさせます。皆で少しずつ修復し、人と人とのつながり、心の豊かさを学び、保存の過程を大切にしながらヴォーリズの心の文化を未来の子供達の為に生かしていきたい」発起人の一人、石井和浩さんは語っています。

(聞き手:編集ボランティア 大山純子)



サブリーダーの石井さん ▶ 旧八幡郵便局内にて

一粒の会
〒523-0864 近江八幡市為心町9 白雲館内 リーダー 太田 吉雄
TEL (0748) 32-7003 FAX (0748) 31-2393

女性の自立と社会参加を考える
講演「女のビジネス・キックオフ」
スモールカンパニーへのスタートアップ その1

日時●1/9 (土) 13:30~
場所●県立女性センター
講師●北野加代子
(オフィスK代表取締役)
参加料●300円

女性の自立と社会参加を考える
講演「あなたのアイデアをビジネスに！」
スモールカンパニーへのスタートアップ その2

日時●2/27 (土) 15:00~
場所●大津市生涯学習センター
講師●吉田恵子
(知的所有権管理士 著作権研究会員)
参加料●300円
※試作品を、当日お持ちの方は事前に連絡下さい。

お問い合わせ先●0749-24-0801 (昼)
0749-22-9282 (夜) / 女性起業と支援の情報発信・あすろう (白川)

生き方研究会 滋賀交流会

日時・場所●
1/10 (日)・2/7 (日)
大津市生涯学習センター
1/31 (日)・2/27 (土)
ウィングパレス草津
2/28 (日) 彦根市文化プラザ
13:30~16:00 (3会場共に)
参加料●500円 (初回無料)
内容●家族、知人、友人との関わり方に関する勉強会
お問い合わせ先●077-561-7902 / 田中

元気な女でいるための
ストレスマネジメント
個性心理学入門ワークショップ

日時●1/15 (金・祝)・2/3 (水)
13:00~16:00
場所●草津コミュニティ支援センター
内容●自分・家族の個性分析を学ぶワークショップ
託児●有 (300円)
お問い合わせ先●077-566-2298
個性心理学個育てネットワーク (金澤)

市民参加の介護保険公開講座

日時・場所●
①1/23 (土) 14:00~16:30
「介護保険の財源システムと福祉産業の創造」
講師/岡本祐三氏 (神戸市看護大学教授)
場所/すこやかセンター
②2/6 (土) 14:00~16:30
「介護保険における医療の役割」
講師/藤本直規氏 (県立成人病センター)
場所/すこやかセンター
③2/20 (土) 14:00~16:30
「福祉自治体の創造と市民の役割」
講師/岩川徹氏 (秋田県鷹巣町長)
場所/守山市民ホール集会室
お問い合わせ先●077-583-2923
守山市社会福祉協議会 (伊藤)

「市民参加のデザイン」
出版記念講演会

日時●1/23 (土) 18:30~20:30
場所●京都アスニー 第4研修室
参加料●5,000円 (本付き)
講演●世古 一穂

これからの市民社会を拓く
ファシリテータ養成
ワークショップ
1日型NPO人材養成講座 (初中級編)

日時●1/24 (日) 10:00~17:00
場所●京都アスニー 第2研修室B
参加料●市民活動団体・行政10,000円
シンクタンク・企業 20,000円
内容●参加のデザイン、評価のワークショップなど
お問い合わせ先●042-359-8605
NPO研修・情報センター

シュタイナー勉強会

日時●1/26 (火) 13:30~15:00
場所●ネットワーク天気村 (草津市)
内容●シュタイナー教育の勉強
参加料●500円
お問い合わせ先●077-564-7868 / 山田

茜トークサークル講座 第47回定例会
「人生の身仕切舞いとしての尊厳死」

日時●1/30 (土) 13:30~16:00
場所●大津市生涯学習センター
参加料●500円
お問い合わせ先●077-522-6897
茜トークサークル 事務局 (木下)

住民参加の
「介護保険公開連続講座」

日時・場所●
①1/30 (土) 13:30~15:30
「介護保険で何がかわる」
一福祉の充実で町や人が元気になる一
講師/岡本祐三氏
(神戸市看護大学教授)
場所/滋賀県立文化産業交流会館
②2/20 (土) 13:30~15:30
「わが町の介護戦略 トーク&トーク」
一安心と参加の地域づくりへ一
講師/佐竹登志子さん 他
場所/長浜市社会福祉センター
参加料●300円 (1回分)
お問い合わせ先●0749-52-5111
県立文化交流会館内 (吉田)

人とのかかわりの中で
育ちあう子どもたち
一親として今、何が大切か一
教師と生徒をこえた人間の熱いドラマ

日時●1/31 (日) 10:00~12:00
場所●草津コミュニティ支援センター
参加料●800円 (本付き)
講師●今村克彦氏 (木津町立高の原小学校教諭)
お問い合わせ先●077-564-2847
草津・栗東おやこ劇場

高木善之地球環境セミナー

日時●2/9 (火) 13:00~16:00
場所●びわ湖ホール (小ホール)
内容●「地球は今」
受講料●前売り1,000円 当日1,500円
お問い合わせ先●077-522-5240
徳田公世

滋賀子育てネットワーク連続講座
「つなげよう子育ての輪」
～一人で悩む子育てから
みんなで楽しむ子育てへ～

日時●第2回2/20 (土) 10:00~
「(仮称)長浜の街づくりに学ぶ」
子育て支援を街づくりの視点から
場所●野洲町中央公民館 (第1集会室)
講師●福永希味子 (長浜市地域子育て支援センター東保育園)
託児●有 (要予約/200円/定員30名)
お問い合わせ先●077-579-4491
風の子保育園 (松原)

参加しませんか?
ホームヘルパー養成講座
2級課程 受講生募集

日時●3/6 (土) ~約6ヶ月間
場所●実技講座/彦根市障害者福祉センター 実習/滋賀県内の施設
内容●実技講座 (スクーリング42時間) / 通信講座 (58時間) / 実習 (30時間)
受講料●80,000円 (消費税別)
お問い合わせ先●077-586-2588
しみんふくし設立準備会

私のハート今日かわる 僕の気持ち今日かえる
バレンタイン大作戦
参加者募集

日時●2/13 (土)・14 (日) 一泊二日
場所●国立大津ユースホテル
内容●おかしづくり、パジャマパーティなど、参加者で交流
対象●中学生以上 (定員60名)
お問い合わせ先●077-537-2753
滋賀県青年団体連合会

日本カロム協会 会員募集

彦根の伝統遊戯「カロム」で楽しいひととき。ネットワークをあげませんか。初心者、未経験の方でもすぐに楽しむことの出来るゲームです。年間4回の定例会を予定 (2月に初回定例会を計画)
参加費●入会金/2,000円 年会費/1,000円 家族会員/一名につき500円
お問い合わせ先●0749-22-7522
E-mail:carom@pop.biwako.or.jp
日本カロム協会事務局

電気自動車を作り直す



環境問題に興味のある方、
また自動車が好きの方、
いっしょに「手づくり」しませんか

作る場所がなくて困っています。
手づくり電気自動車を一緒に作ってくれる方、場所を提供して下さる方 (屋根付・AC100V取れる所) 大募集です。
お問い合わせ先●077-527-5223 (FAX兼) 堤 健一

はじめの一步 ~仲間を募集しています~

子どもをもつシングルマザーの会。一緒に子育てを楽しんだり、快適な生活のための情報交換、サポート体制を作っていきますか? 元気良く「はじめの一步」を踏みだしてい

お問い合わせ先●〇七七(五二四)九九七〇
滋賀地方自治研究センター/今井

加ください。

「市民参加の介護保険公開連続講座」の模様



▲「市民参加の介護保険公開連続講座」の模様

「介護の社会化を進める一万人市民委員会 (関西) 滋賀ネット」が設立されました。現在、会員を中心とした「市民参加の介護保険公開連続講座」を県内各地で開催し、二〇〇〇年に導入される介護保険制度への理解を深めるとともに、市民参加の方向性を提案しています。ぜひ公開講座等にご参加ください。

Voice

こんな活動をしています。
ご協力をお願いします。

介護保険制度について
考えよう

介護の社会化を進める
一万人市民委員会 (関西)
滋賀ネット

淡海ネットワーク

リレーエッセイ⑤



サンタさんは
行ってくれたかな?

家永理津子(草津市)

うちの学童保育所にペルー人の子が2人来ています。日本語は
だいたい理解できるのですが、初めの頃は「おかえり」と言う
と「おかえり」とおうむ返し。

でもいつからか自分の方から「ただいま」と言うようになりまし
た。おやつの中にはとまどうこともあるようで、自分の分を食
べ終わると人のお皿を指さして「あー」と自分の口をあけ
てみせます。「食べていい?」ということなのでしょう。

「あかん」「どして?」「これは〇〇ちゃんの!」「??」
ここが何度言っても理解できません。

これは自分の、これは人のとキッチンと物を平等に分け
たがるのは日本人の特性かもしれません。

その彼が11月の終わり頃から毎日帰りの会の時にな
ると聞きます。「せんせ、サンタクローズは12月24日の夜
来る?」「うん、来るよ。楽しみやね。」といつも
答えています。サンタさん忘れずに行ってくれ
たかなあ・・・。

次は、にぎやか塾の指導員をされている
乗光ちず子さんを紹介します。



大津市
乗光ちず子さん
お楽しみに!!

皆さんの相談相手、または活動の拠点として
今年も大いにご利用下さい

あけましておめでとうございます。

淡海ネットワークセンターも2回目の新年を迎えまし
た。昨年は「NPO国際フォーラム」を開催するなど新
たな取り組みにもチャレンジしました。時代は今、
大きな変革期にあります。そこに新しい道を拓くの
はNPOの皆さんであり、県民・企業・行政のパート
ナーシップであろうと思います。その下支えの役割

を担うため、淡海ネットワークセン
ターもより一層がんばる決意です。
皆さんのご支援、ご協力をお願いし
ます。

(財)淡海文化振興財団
理事長
國松 善次

◀12月1日に開催された「NPO国際
フォーラム・イン・しが」にて



伝言板 1月→2月

3月・4月の伝言板
情報募集中

日時・場所・問い合わせ先等を明記のうえFAXまたは郵送でセンターまでお送りください。(2月10日締切です)

こんなことしま〜す!

福井良一 洋館とあかり展

日時●1/14~17(木~日)10:30~16:30
場所●近江八幡市仲屋町 旧八幡郵便局舎内
内容●ヴォーリズの建築空間の中で、一粒のあかり
から豊かな心の揺らぎをお楽しみ下さい
お問い合わせ先●0748-32-7003/一粒の会(村井)

狂言の発表会(大蔵流)

日時●1/15(金・祝)・16(土)10:00~16:30
場所●彦根城博物館 能舞台
内容●滋賀県で初めての素人狂言会
お問い合わせ先●0749-37-4323/小澤
※彦根で活動しています。一緒に始めませんか。

「まちかど」サロンコンサート

ゲスト 茂山あきら氏(狂言師)
日時●1/31(日)15:00~17:00
場所●びわ湖ホール(小ホール)
参加料●前売り2,500円 当日2,800円
内容●湖・川にまつわる世界に名曲を集めて演奏
お問い合わせ先●077-578-3045
「まちかど」サロンコンサート事務局/村田

チャリティーライブ
~アンデス・ペルーに
図書館を建てよう!!~コンサート

日時●2/7(日)19:00~
場所●“まどいあん”谷田宅(京阪四の宮駅徒歩3分)
参加料●1,500円(お茶、お菓子付)
内容●演奏 CESAR LA TORRAL
お問い合わせ先●077-523-1891/谷田

一緒に考えませんか?

NPOはつらつトーク

日時・場所●13:30~15:30(5会場共に)
1/9(土) 県立女性センター
1/9(土) サントピア水口労働青少年ホーム
1/10(日) 今津東コミュニティセンター
1/23(土) 近江母の郷文化センター
1/24(日) 草津コミュニティ支援センター
内容●・特定非営利活動促進法の説明
・ボランティアとNPOについて考える集い
お問い合わせ先●077-528-3411/滋賀県企画県民部県民生活課

鉄道模型を通してまちづくり

湖国の鉄道の歴史とその地域の生活文化を
探りながら鉄道文化の良さを伝えるため、こ
れまで、大津市歴史博物館(八月)、近江鉄道
八日市新駅舎(七月)、米原鉄道フェスティ
バル(十月)に参加しました。十一月末には
甲西町立図書館でも、地元甲西の鉄道愛好
グループ合同で模型走行会を開催しました。
興味がある方ご連絡お待ちしております。
問い合わせ先●077-578-1304
(仮称) 滋賀鉄道模型愛好会/村田

ましよう。未婚・離婚・死別は問いません。
問い合わせ先●077-578-1304
email:ZAQ00252@nifty.ne.jp
風の予保育園/松原
077-545-1045/石田

淡海サロン主催者募集

センターでは、新しい社会参加活動のきっかけとなるサロン(淡海サロン)を応援しています。今年度の予定数にまだ少し余裕があります。ぜひご応募ください。サロンの開催に必要なゲストの謝礼、会場費、資料費など30,000円を上限に支援します。

平成10年度は下記のテーマでサロンが開催されています。参考にしてください。

- 子育てを終わった世代の子育て支援活動について
 - 子どもに関する諸問題について
 - 環境を守るための地域の歴史を学ぶ
 - 環境に優しい木酢液について
 - 親と子が共感できる場づくり
 - GENKIパワーの発信(滋賀の女性達のやる気づくり)
 - 脳卒中者後遺症の生涯の克服
 - 子どもと子育て
 - 文庫ボランティアをつくる
 - 地場野菜と花による生きがいづくりと地域の活性化
 - 親子ふれあい手作りおもちゃ
 - 不登校の子をもつ親の集い
 - 「映像の世紀」によるビデオフォーラム(今後の国際交流について)
 - 女性の社会参加を考えるネットワーク
 - 草津川の跡地利用について
- 計15サロン

「少人数によるサロンは参加者同士が親密になれ、つっこんだところまで話ができます」

子育てに関する淡海サロン開催者の声

こんな声も届いているよ!



あなたも「地域プロデューサー」をめざしませんか

まちづくり、環境保全、福祉など地域のいろんな課題に取り組んでみたい…。そんな思いをもつ人たちのための「塾」を開く準備を進めています。

「地域プロデューサー」= よりよい地域を思い描き、実現に向けて楽しい取り組みを提案し、実践する人

塾はそんな人のトレーニングとネットワークづくりの場です。

塾の期間 ……………2年

カリキュラム ……………塾生の希望を取り入れた基礎学習と

テーマ別のグループに別れての自主研究を中心に構成する予定。
(研修旅行など楽しいプログラムも検討しています)

「こんなことして欲しい」など「塾」に関するご意見をお聞かせ下さい。

なお開塾は来年度ですが塾生の募集は2月から開始。

ご関心のある方はセンターまでご連絡下さい。募集要項が出来次第お送りします。

「おうみネット」編集ボランティア大募集

「おうみネット」は、県内の皆さんの市民活動を応援するための情報交流の場づくりを目指し、それをサポートして下さる編集ボランティアを募集しています。編集会議への参加、取材、FAXなどによる情報提供、関わり方は様々です。あなたも参加してみませんか。

■編集ボランティア会議■

日時: 2月10日(水) 14:00~16:00

内容: 来年度のおうみネットについて

場所: 淡海ネットワークセンター会議室

淡海ネットワークセンター ブックレット No.5・6発行!!



センターでは、わくわく市民活動ゼミナールの講義録やフォーラム、交流会の記録をまとめた淡海ネットワークセンターブックレットを発行しています。今年度のわくゼミの講義録をまとめたブックレットNo.5・No.6ができました。ご希望の方は送料(4冊まで300円分、5冊以上600円分の切手)を添えてセンターまでお申し込み下さい。

- No.5 NPOのための資金獲得術 (講師:早瀬昇さん)
- No.6 欧米のNPOの事例に学ぶ (講師:跡田直澄さん)

淡海ネットワークセンターブックレット(既刊)

- No.1 わたしたちが開くこれからの地域社会 (設立記念フォーラム記録)
- No.2 市民活動の意義と役割 (講師:山岡義典さん)
- No.3 市民活動促進のための法制度をめぐる議論 (講師:雨宮孝子さん)
- No.4 これからのNPO経営~おうみ市民活動交流会記録 (基調報告:木原勝彬さん)

残りわずか!

編集後記

新年あけましておめでとうございます。今年もよろしくお祈りします。

今回は座談会ではありませんが、NPO国際フォーラムの講演や討論の内容を特集しました。このフォーラムには多数ご参加いただきありがとうございました。リチャードさんとバーバラさんから英語のチャリティ制度とチャリティ団体の話を聞き、今後の日本の市民活動、またそれを支える制度について、考える機会となりました。市民活動というもの世界的に共通する面がある一方、その国、地域ならではの面があるように感じました。2月下

旬に、昨年に引き続き「おうみ市民活動交流会」を予定しています。県内のNPO、ボランティア団体の交流会です。ぜひご参加下さい。今年4月から、いよいよ淡海ネットワークセンターは「ピアザ淡海」に移越します。膳所駅から少し遠くなりますが、景色は何十倍もすばらしいところです。次号はセンターの2年間の活動内容と新しいセンターの紹介を特集してみたいと思っています。お楽しみに。

淡海ネットワークセンター

(財)淡海文化振興財団 / 〒520-0806 大津市打出浜14-15

HPアドレス・E-mailアドレスが変わりました

4月からピアザ淡海に引越します。 〒520-0801 大津市におの浜1-1-20

TEL 077-524-8440 FAX 077-524-8442

※電話・FAX番号は変わりません。

- <http://www.biwa.ne.jp/~ohmi-net>
- E-mail ohmi-net@mx.biwa.ne.jp

右記の日時にご利用いただけます。

月曜日と祝日の翌日を除く毎日(12/29~1/3を除く)
火~金曜日:9:00~19:00 土・日曜日、祝日:9:00~17:00

